

新型コロナウイルスに対応するために

令和2年11月19日 厚生労働省資料・北海道釧路総合振興局資料参考／釧路市健康推進課作成

新型コロナウイルス感染症が心配な時



発熱・咳などの風邪症状



かかりつけ医(内科の病院・クリニック)
あり

かかりつけ医(内科の病院・クリニック)
なし・受診先がわからない方

かかりつけ医に電話相談

電話で相談

対応可能
検査・受診

新型コロナに
対応
出来ない場合

- 北海道釧路保健所
0154-65-5811 平日 8:45~17:30
- 北海道新型コロナウイルス
感染症健康相談センター
0800-222-0018
フリーコール・24時間

医療機関の紹介
検査・受診

※ 現在、内科の病院・クリニックに通院されている方は、まずは電話で受診できるかどうかをご確認ください。
※ お子様をお持ちの方へ：小児については小児科医による診察が望ましいため、かかりつけ小児科医療機関に電話などでご相談ください。かかりつけ医が決まっていない・わからない場合は、上記へご相談下さい。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

